

## 地域再生計画

- 1 地域再生計画の名称  
蓬萊橋周辺整備事業
- 2 地域再生計画の作成主体の名称  
島田市
- 3 地域再生計画の区域  
島田市の全域
- 4 地域再生計画の目標

島田市は年間約 250 万人の観光客が訪れる観光地であり、蓬萊橋をはじめ、大井川鐵道の SL、きかんしゃトーマス号や川根温泉などの魅力あふれる観光資源を活かし、「観光で稼ぐ」まちづくりを進めるとともに、これらの観光資源に地域の創意を凝らした「知恵」を活かし、官民一体となった「観光地域づくり」、「地域ブランドづくり」をとおして、地域経済の活性化を目指している。

蓬萊橋は年間約 12 万人が訪れる市内有数の観光地であるが、「留まってもらう、お金を使ってもらう場所」がなく、観光資源としてのポテンシャルを活かしきれていない。これは観光誘客数の更なる増加が見込めないことだけでなく、島田市の PR や地域経済の活性化、さらに、観光資源を活かした新しいビジネスの創出や地域づくり、人づくりの機会までも逸しており、「観光で稼ぐ」仕組みとしての観光資源となっていない。

そのため、蓬萊橋周辺に物販所、休憩所が一体となった施設を整備、また、駐車場整備、ライトアップ設備の設置を行うことで、既存の観光資源に「新たな付加価値」をつけ、観光資源の有効活用による更なる観光誘客を目的とする。更に施設の運営については、民間活力を導入するとともに、地元団体との連携をとおして地域づくり、人づくりも行き、地域経済の活性化を図っていく。

### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 28 年度 (1 年目)	平成 29 年度 (2 年目)	平成 30 年度 (3 年目)
観光消費額	528,000 千円	0 円	22,000 千円	22,000 千円
物販所売上額	0 円	0 円	2,000 千円	2,000 千円
観光交流客数	240 万人	0 人	10 万人	10 万人

	平成 31 年度 (4 年目)	平成 32 年度 (5 年目)	KPI 増加分の 累計
観光消費額	44,000 千円	44,000 千円	132,000 千円
物販所売上額	3,000 千円	3,000 千円	10,000 千円
観光交流客数	20 万人	20 万人	60 万人

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

蓬萊橋という本市有数の観光資源に物販所兼休憩所等を整備、併せて、駐車場整備、ライトアップ設備の設置を行っていく。物販所兼休憩所の運営については、民間活力を導入し、特産品の販売等を実施する。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体 島田市

#### ② 事業の名称：蓬萊橋周辺整備事業

#### ③ 事業の内容

本事業は、市において、本市有数の観光資源である「蓬萊橋」に物販所兼休憩所等を整備し、既存資源に新たな付加価値を付ける、観光資源の有効活用によって、更なる観光誘客の推進を目的として実施するもの。

また、駐車場整備及びライトアップ設備の設置を行い、本体整備事業の効果を更に高める事業を併せて行う中で、観光客の満足度を高め、リピーターの確保に努めていく。

さらに、施設の運営については、民間活力を導入し、地域経済の活性化を図るとともに、地元団体との連携をとおして地域づくり、人づくりも行っていく。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

市は、物産販売所兼休憩所の建設、維持管理を行い、施設の運営（島田市の特産品であるお茶を中心とした物販、休憩所での軽食販売）等については、島田市大井川ミズベリング協議会に参画している茶振興協会や商工会議所、民間事業者及び地元団体を中心に官民連携で行う。なお、現在、行っている試験販売の検証結果等を踏まえ、収益性を高めるとともに、自立した持続的な運営が可能な事業としていく。

##### 【官民協働】

市は、蓬萊橋への更なる観光誘客の推進を目指し、物販所兼休憩所等の施設整備

を行い、その利活用、運営については、平成 28 年 5 月に官民協働で設立した「島田市大井川ミズベリング協議会」が中心となり、蓬萊橋を中心とした大井川の水辺やまちの賑わい創出を図るとともに、市の基幹産業である茶産業を中心とした地域経済の活性化、島田市の PR に結びつく取組を展開し、「稼ぐことができる観光地」としていく。

**【政策間連携】**

蓬萊橋への物販所兼休憩所等を整備することにより、観光客の満足度を高め、観光交流客の増加に繋げていくとともに、物販所において、市の基幹産業である「お茶」を中心とした特産品の販売や運営に民間活力を導入することにより、地域経済の活性化を図っていく。また、官民協働の「大井川ミズベリング協議会」が運営の中心を担う中で、そこに関わる人を育てることのできる取組を推進し、「人づくり」、「地域づくり」にも繋げていく。

**【地域間連携】**

広域観光連携の枠組みである「3市1町観光広域観光連携協議会」、「富士山静岡空港周辺地域観光振興研究会（6市2町）」の中で、各市町の観光地を巡る観光ルートを作成している。今回の物産販売所兼休憩所の整備により、観光ルートの魅力が高まるとともに、蓬萊橋を拠点とした新たな観光ルートの可能性が生まれ、「観光エリア」としての魅力を高めていく。その他、「志太3市1町観光広域連携協議会」や「大井川流域観光振興協議会（1市1町）」等による蓬萊橋を拠点とした新たな広域イベント（ウォーキング等）を開催し、更に「観光エリア」としての魅力を高めていく。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 （現時点）	平成 28 年度 （1 年目）	平成 29 年度 （2 年目）	平成 30 年度 （3 年目）
観光消費額	528,000 千円	0 円	22,000 千円	22,000 千円
物販所売上額	0 円	0 円	2,000 千円	2,000 千円
観光交流客数	240 万人	0 人	10 万人	10 万人

	平成 31 年度 （4 年目）	平成 32 年度 （5 年目）	KPI 増加分の 累計
観光消費額	44,000 千円	44,000 千円	132,000 千円
物販所売上額	3,000 千円	3,000 千円	10,000 千円
観光交流客数	20 万人	20 万人	60 万人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度3月末時点のKPIや達成状況を総合戦略担当課が取りまとめて、産官学金労言の有識者で構成される「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」や、議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて総合戦略や今後の事業運営に反映させる。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 90,000 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 蓬萊橋周辺施設等情報発信事業

事業概要：蓬萊橋を訪れる観光客の、市内における消費活動を促進するため、市内飲食施設及び観光施設等の情報発信（観光地の案内）を行う場を整備するもの。

実施主体：静岡県島田市

事業期間：平成30年度～平成32年度

(2) 市内物産品等販売事業

事業概要：蓬萊橋を訪れる観光客に対して、市が市内で生産し販売されている産品の中から募集・審査・認定を行う「島田の逸品」を始めとした市内物産品等の販売を行うことにより、観光客による消費喚起を促す。さらに、市内物産品の商品PRの場としての機能を併せ持ち、平時における継続的な市内物産品の消費喚起を意図するもの。

実施主体：静岡県島田市

事業期間：平成30年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、総合戦略担当課及び産官学金労言の有識者で構成される「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」におい

て、結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

目標 1

観光消費額については、市が年度末時点で蓬莱橋来場者数等により把握する。

目標 2

物販所売上額については、市が年度末時点で決算書により把握する。

目標 3

観光交流客数については、市が年度末時点で統計により把握する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成 28 年度 (1 年目)	平成 29 年度 (2 年目)	平成 30 年度 (3 年目)
観光消費額	528,000 千円	0 円	22,000 千円	22,000 千円
物販所売上額	0 円	0 円	2,000 千円	2,000 千円
観光交流客数	240 万人	0 人	10 万人	10 万人

	平成 31 年度 (4 年目)	平成 32 年度 (5 年目)	KPI 増加分の 累計
観光消費額	44,000 千円	44,000 千円	132,000 千円
物販所売上額	3,000 千円	3,000 千円	10,000 千円
観光交流客数	20 万人	20 万人	60 万人

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度 3 月末時点の KPI や達成状況を総合戦略担当課が取りまとめて、産官学金労言の有識者で構成される「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」や、議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて総合戦略や今後の事業運営に反映させる。検証結果はホームページで公表する。